

Q6

一度、肺炎球菌感染症にかかってしまったら、肺炎球菌ワクチンを接種する必要はなくなりますか。

A

ある莢膜型の肺炎球菌に感染すると、その莢膜型の肺炎球菌に対する免疫が獲得され同じ肺炎球菌に感染する可能性は少なくなります。しかし、肺炎球菌には90種類もの莢膜型が存在しており、以前に肺炎球菌感染症にかかったことのある人でも、他の莢膜型の肺炎球菌感染症に罹患する可能性は否定できません。現在、市販されている肺炎球菌ワクチンは、23種類の莢膜ポリサッカライドを含み、わが国に分布している肺炎球菌莢膜型の約80%に対応することができるので、このワクチンを接種し、幅広い莢膜型に対する免疫を獲得しておくことは意味があると考えられます。